

いしおか

市議会だより



第2回定例会

一般会計補正予算など

市長提出議案11件を可決

議員提出議案

庁舎建設特別委員会の設置

2～3ページ

一般質問

13人が登壇

4～8ページ

議案質疑

8～9ページ

常任委員会の活動

10～11ページ

請願・陳情の概要と結果

12ページ

第45号

ぎかい
広報紙

平成26年8月15日発行

一般会計補正予算など

12議案を可決

6月3日から6月19日に開催した平成26年第2回定例会では「平成26年度石岡市一般会計補正予算」などの議案が提出されました。

(3ページ参照)

●平成26年度の一般会計補正予算

補正予算は、国・県の補助事業の変更に伴う経費、緊急性の高い事業に対応する経費の予算が計上されました。補正予算額は737万3300円を追加して、補正後の歳入歳出総額は289億737万3000円となります(年度当初の予算額は289億円)。

歳出の主な内容として、地上デジタル放送難視対策共聴施設を整備する中山地区への整備費用助成として641万4000円の増。茨城県医療福祉費支給制度が10月1日から小学校6年生まで

●医療福祉費支給に関する条例の一部改正

議案第43号は平成26年10月から外来に係る医療費の助成を、15歳まで支給対象を拡大等するため

●福祉バスの購入

議案第46号は、石岡、八郷に配置している福祉バス2台を更新し、47万5200円で車両を購入する契約を締結する議案です。今回の福祉バスの更新は、昨年12月に市内に在住する匿名の女性からいただいた寄附を受け、その方の意向に基づい

て、リフト付き福祉バスを購入するものです。

●庁舎建設特別委員会の設置

定例会最終日、庁舎建設と関連する事業の審査及び調査を行う「庁舎建設特別委員会」の設置について」の議案が、各常任委員長の名で提出され、本会議で審議・表決の結果、賛成多数で可決しました。

●副市長選任の同意

今定例会では、現在空席となっている副市長に、前市長公室長である田崎徹氏(染谷)を選任するための同意を求める議案が提出され、本会議で審議・表決の結果、賛成多数で同意しました。

今回提出された議案は、各常任委員会に付託をして審査を行いました。本会議で表決の結果、すべての議案を原案のとおり可決(承認・同意)しました。

庁舎建設特別委員会が発足

市が進める庁舎建設事業について、市民が利用しやすい環境と、安全で安心な暮らしを支える機能を持ち、今後の市の活性化に寄与する庁舎とするため、様々な意見や考え方を集約し、それらを提言していきます。

特別委員会委員長	池田正文
特別委員会副委員長	高野要
特別委員会委員	前島守雅
	塚谷重市
	菱沼和幸
	岡野佐工
	山本進
	岡野孝雄

永年勤続議員表彰

このたび、磯部延久議員が地方自治の伸長発展と市政の向上に貢献した功績に対して贈られる永年勤続議員表彰を受賞しました。



磯部 延久

勤続15年表彰
全国市議会議長会
茨城県市議会議長会

議案の内容は、石岡市議会ホームページで詳しく確認できます。

石岡市議会を検索するか、次のURLを直接入力してください。 <http://www8.ocn.ne.jp/~ishioka/>

石岡市議会



議案の審議結果

第2回 定例会 ※第2回定例会（6月3日～6月19日）で審議した議案の結果は、次のとおりです。

議案番号	議案名	結果
議案第37号	専決処分に対し承認を求めることについて （平成25年度石岡市一般会計補正予算（第5号））	承認
議案第38号	専決処分に対し承認を求めることについて （石岡市税条例等の一部を改正する条例）	承認
議案第39号	専決処分に対し承認を求めることについて （石岡市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第40号	専決処分に対し承認を求めることについて （石岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第41号	専決処分に対し承認を求めることについて （水戸地方裁判所土浦支部平成25年（ワ）第341号損害賠償請求事件に係る和解 及び損害賠償額の決定）	承認
議案第42号	平成26年度石岡市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第43号	石岡市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第44号	石岡市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例を 制定することについて	原案可決
議案第45号	石岡市火災予防条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第46号	備品購入契約の締結について （平成25年度福祉バス2台購入）	原案可決
議案第47号	副市長の選任につき同意を求めることについて	同意
議員提出議案第1号	庁舎建設特別委員会の設置について	原案可決



平成
26年

第3回定例会 のお知らせ

平成26年第3回定例会は、この日程で開催する予定です。なお、放映の欄に「有」と記載されている会議は、仮設庁舎本館待合スペース、八郷総合支所1階ロビー、まちかど情報センターで中継をご覧いただけます。

月 日	曜	主 な 内 容	場 所	放映
8月26日	火	議案の提案理由説明など	本会議場	有
9月 1日	月	一般質問	//	//
2日	火	一般質問	//	//
3日	水	一般質問	//	//
4日	木	議案質疑	//	//
5日	金	常任委員会	委員会室	無
8日	月	常任委員会	//	//
9日	火	特別委員会	//	//
10日	水	議会運営委員会	全員協議会室	//
11日	木	議案の採決など	本会議場	有

常磐線石岡駅橋上化及び自由通路新設工事 待たれる駅周辺整備事業の完成



すすむ 進
もと 本
やま 山

問 今の石岡駅は明るい賑わいの場所という雰囲気はなく、駅周辺整備事業の完成が待ち望まれます。石岡市とJR東日本との協定では、工期は平成27年3月31日ですが、橋上駅舎と自由通路の供用開始時期はいつになるのか。想定外の工事の遅れなどがないか、進捗状況と工事の安全管理等についてお考えをお伺いします。また、本事業は石岡市中心市街地活性化基本計画に位置付けられ、その認定計画期間は平成27年3月31日です。駅西口広場整備とBRTターミナル整備の期間内事業完了は難しいと思いますが、今後どのように進めていくのか伺います。

答 石岡駅橋上化及び自由通路新設工事の進捗状況ですが、昨年12月より使用物件移転工事や駅構内の仮設トイレ設置、仮設の乗換跨線橋を設置し、本年4月より本工事に着手したところであります。工事の安全管理については、近隣住民や駅利用者等に配慮した施工方法で工事を進めていくことでJRや工事施工者と協議をしています。東京オリンピックや東北復興等による資材高騰はこれからのクリアすべき課題と考えますが、来年夏の供用開始に向け工事を進めている状況です。また、駅西口広場、BRTターミナルの工事については当初の目的どおり27年度末完成に向け進めてまいります。

●その他の質問事項
●中心市街地活性化対策事業

タイムカード導入 適切な人事配置のために



ひろ 尋
ち 千
ます 増
とく 徳

問 直行直帰の部署がある一方、日曜日も祝祭日も休めないという部署もあります。そのような現状を把握していくためには、きちんとしたデータが残っていないといけません。タイムカード（※1）を導入することにより、どの部署が忙しいのか、どの時期に手が空くのかというデータが残ります。また、タイムカードを押すことにより、拘束時間であるという自覚が職員にも出てくると思います。職員の健康管理、人事配置の面から、タイムカードを導入するべきだと思いませんか。

すが、どのようにお考えが伺います。

答 タイムカードの導入により、職員の登退庁時間を把握することは可能になります。正確な勤務時間の把握まではタイムカードだけではできないと考えています。職員の勤務状況の把握は、現行の職員服務規程に基づく帳簿等による業務管理を行いながら、今後、他市の事例などをふまえ、よりよい出退勤管理の方法を検討してまいりたいと思います。労務管理の最近の傾向としては、ICカードなどIT化が進んでいます。今後は、新庁舎の建設も控えていますので、新たなシステムについて調査研究し、導入にあたっては慎重に見極めてまいります。

●その他の質問事項
●循環型社会形成に即したゴミ処理施設建設
●職員の心のなやみ相談
●人事評価

学校給食センター調理業務の民間委託 民間委託は市の責任放棄ではないか



まさ 正
とよ 豊
まつ 松
こ 小

問 第1回定例会で、市長は調理事務の民間委託は避けて通れないと答弁していますが、その理由について伺います。学校給食の業務水準の維持発展のため今解決が求められているのは、現業調理職員の適切な配置であり、民間へ業務委託することは市の責任放棄ではないかと思えます。また、これまで石岡市の給食センターとして蓄積されてきた調理技術の水準が継承されるのかなど、いろいろと問題が起きるのではないかと思います。学校給食法の精神から民間業者に委託するということはなじまないと思いますが、どのような考えが伺います。

答 学校給食センター調理業務の民間委託が避けて通れない理由ですが、給食の質を維持することを基本とし、調理業務の安定的な運営と改善効率化という観点から、民間委託が必要であるという考えを示したものであり、民間の持つノウハウを活用し安全安心な給食を提供できる体制を整えていくことこそが、市の責任を果たすことであると考えております。なお、学校給食の民間委託については、昭和60年の文部省体育局長通達から学校給食を民間に委託していく、またはパート調理員を導入するということに問題はないと認識しています。

●その他の質問事項
●行財政改革大綱の作成と生活困窮者対策の組織づくり
●民間の学童保育に対する支援 など

※1 タイムレコーダー（出勤記録時計）に挿入して出退勤の時間を記録するカード

八郷地区の活性化

朝日トンネル周辺住民の利便性向上



あきら 昭

せき 関

問 朝日トンネル開通後、フラワーパークやイチゴ団地が賑わっていますが、周辺住民にとっては、交通量の増加に伴う騒音の増加や治安の悪化などマイナス面もあり、トンネルが開通して良くなったと実感が持てるような周辺住民の利便性の向上が望まれます。そこで、路線バスの開通やスーパーやコンビニ、ガソリンスタンド等の誘致について伺います。

答 周辺住民の利便性向上として、路線バスの開通については、運行事業者との勉強会を継続的に実施しており、新規バス路線の可能性について今後も意見交換を行います。スーパーやガソリンスタンド等の誘致については、民間事業者が各自で参入の判断をするものですが、地域の魅力ある地域に育て上げ交流人口が増加すれば、民間の出店意欲も出てくると考えており、まずは地域の魅力向上に向け努力してまいります。また、朝日里山学校の利用者はトンネル開通後増加しており、また、地域や施設管理者からの要望もあり、利用状況を勘案しながら、道路や駐車場の整備を検討いたします。八郷南中学校の跡地利用については、教育施設としての利用の可能性が出てきており、近く正式な形で報告できるのではと思っております。



むら 村 上 泰 道

市民会館の耐震診断結果と今後の方向性

安心して今後も使える対応を

市民会館の耐震診断結果は、大ホールの1s値（※2）が0.41であり、求められる耐震性能を満たしていませんが、ホールの使用について現在の対策をお伺いします。また、市内小中学校については、1s値0.44から0.69の市内11施設について本年度と来年度に向けた耐震工事の予定が決定していますが、それ以下の数値である市民会館大ホールについては、施設の方角性がまだ正式に示されていません。安心して今後も使える対応、方向性をお示し願いたいと思います。

ですが、お考えを伺います。

答 市民会館の耐震診断結果は、管理棟は将来想定される地震に対して設定した耐震性能が確保されている、大ホールは耐震補強が必要であるとの判定結果となりました。現在、大ホールの使用時については、施設警備業務の有資格者を配置し、館内外の整備や避難誘導等を的確に対応できる体制を確保し、わかりやすい避難口の配置や案内板の増設など、安全確保を図っております。今後の施設の方向性については、公共施設再配置計画の策定の中で、大ホールの耐震補強などを含め、政策的な判断を総合的に検討してまいります。

その他の質問事項

- 常磐線東京駅乗り入れを受けての利用促進
- 茨城大学との地域連携協定
- 市税納入方法としてクレジット支払いの可能性

公共施設再配置計画

早急な計画策定が必要



や た がわ やすし 谷田川 泰

問 現在、石岡市が維持管理している公共施設の多くは、昭和40年代から50年代に建てられたものであり、修繕や維持管理に多額の費用が必要になってきています。早急に公共施設再配置計画を策定し、市民の理解を得ながら真剣に取り組まなければ、本来の市民サービスができなくなるのではないかと危惧しています。具体的などのような計画策定を進めていくのか。また、公共施設再配置の代表的事例として新庁舎建設が挙げられますが、八郷庁舎との関係はどう捉えているのか、お考えを伺います。

答 当市は平成17年の合併を経て、多種多様な施設や類似した施設が存在している状況にあります。老朽化や耐震補強などの改修時期が集中し、今後さらなる財政負担の増加が見込まれ、全ての施設を現在の水準で維持していくことは困難です。公共施設の再配置は重要かつ喫緊の課題であり、体制を強化して着実に実行できるように取り組んでまいります。また、八郷庁舎の有効活用については、新庁舎の基本計画がまとまった段階で、庁内の検討委員会や議会の意見を頂きながら、早めに方向性を示していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 観光振興計画の見直し
- 2月の大雪による農業施設の被害の実態と復旧状況

※2 建物の強度や粘りに加え、その形状や経年状況を考慮した耐震指標

※3 市民の生命、生活及び財産を守ることを目的とし、大規模災害時においても行政機能、行政活動を継続するため、事前に必要な資源の再配分や対応方針、手段を定める「業務継続計画」

安全・安心なまちづくり 市民に不便をかけない防災対策を



ひし ぬま かす ゆき
菱 沼 和 幸

問 防災行政無線の来年4月の供用開始にあたり、市民に不便をかけないような対応をしていますが、できればと思いますが、事業の進捗状況や課題等について伺います。

また、自宅にいる方などは屋外の音声が届きづらく、戸別受信機が必要になるとありますが、どのような対応策をとられるのか。防災行政無線の放送内容を電話で確認できるテレホンサービス導入について、どのようにお考えか伺います。何かあった時に業務を継続していくことが、市民のためにも重要だと思いますので、BCP（※3）の1日でも早い策定を望みます。

答 防災行政無線整備は、平成25年度に本庁、支所及び消防本部への機器整備と、公共施設等48箇所への屋外拡声子局整備を行いました。平成26年度は6月中旬に63箇所の屋外拡声子局の整備を予定しています。個別受信機については、屋外拡声子局の整備完了後に調査を実施して音が届かない地域を特定し、土砂災害警戒区域とともに来年1月を目途に設置してまいります。また、フリーダイヤルによるテレホンサービスの導入を予定しています。BCPの策定は、優先ランクが高い窓口業務の選定などを協議し、今年度末を目途に策定してまいります。

その他の質問事項

- 学校における新たな教育の取組と薬物乱用防止対策
- 子ども子育て支援新制度の本格施行に向けて
- 雨水対策

いしおかトレイルラン大会 ——自然環境保護と石岡のPR



せき ぐち ただ お
関 忠 男

問 いしおかトレイルランクラブ主催により、4月27日に開催された第7回いしおかトレイルラン大会は、茨城県内外から817名の参加者があり大変盛り上がったとのこと。また、8月31日には筑波連山天空トレイルラン大会が開催されるとのことです。トレイルラン（※4）は自然環境に近い形で走るために、貴重な植物へのダメージも想定されますが、どのように自然環境の保護をしているのか、伺います。トレイルラン大会は石岡をPRできる良い機会です。石岡の魅力創造

にも繋がると思いますが、前夜祭などを行ってはどうか、伺います。

答 トレイルラン大会の開催にあたり、自然環境にダメージを与えることを最小限とするコース設定等の配慮はもとより、ごみを会場、コースに捨てた場合は失格とするというような大会規定を設けるなど、大会主催者がランナーに対して注意喚起を行っていることを確認しています。また、地域とのコミュニケーションを強化し、森所有者等地域の方々の理解や協力も広まり、地元の人々もボランティアとして一緒に参加したり、コースの端から端までごみの確認をしていただくなど、環境への配慮を行っています。今後は、ご提言のあった前夜祭など、地域に経済効果が波及するような取組について調査研究してまいります。

子育て支援対策 移動式赤ちゃんの駅の導入を



たま づくり よし み
玉 造 由 美

問 石岡市では子育て支援の一環として、授乳やおむつ交換などができる場所を確保する、赤ちゃんの駅が設定されています。近年、運動会や野外でのイベント会場などで、子育て中のご家族が安心して授乳やおむつ替えに自由に使えるように、移動が可能なテントや折り畳み式おむつ交換台を、移動式赤ちゃんの駅として無料で貸し出す自治体が増えています。乳幼児を連れた保護者が安心してイベントなどに参加できるよう、当市でも移動式赤ちゃんの駅を取り入れるべきと思いますが、どのようにお考えか伺います。

答 移動式赤ちゃんの駅の導入事例として、和歌山県の橋本市によると、平成25年度に市内の団体からテント、折り畳み式おむつ台、シートセット2組の寄附を受け、昨年11月から貸し出しを行っているとのこと。現在までの使用実績は、市内のイベント時にそれぞれ1組を2回貸し出ししているとのこと、当市でも子育て支援の一環として、今後導入を検討してまいります。



その他の質問事項

- 石岡市のイメージアップ戦略
- 地域包括ケアシステムの現状と課題

※4 陸上競技の中長距離走の一種で、登山道や林道など、場所の高低に関わらず、舗装されていない道进行競走

人事・労務管理とメンタルヘルス対策

適正な人員配置と臨機応変な対応を



おかのたかお 男 孝 野

問 スピード感のある行政運営には適正な人員配置が欠かせませんが、病気で欠けた職員が欠員となつた状況をふまえ、年度途中での人事異動、新規採用といった臨機応変の対応も視野に入れるべきです。また、公共事業を円滑に効率よく推進するためには技術職の確保が不可欠だと思いますが、どのようにお考えか伺います。厚生労働省は労働時間の規制緩和を進めていますが、能力の高い職員ほど仕事量が集中し、過重労働につながりかねません。職員の過労死防止やメンタルヘルス（※5）対策など、人事・労務管理上どのような取組を行うべきか伺います。

答 職員数が減少する中、年度途中で配置を変えることは難しく、臨時職員、嘱託職員での補充をお願いしています。職員採用については、これまでの方針どおり統一試験に合わせて実施する考えです。技術職の確保育成は当市の切実な課題であり、長期的な視点が必要と考えます。今後も、職員の経歴や適性をふまえ、業務が滞りなく継続できる体制をとってまいります。人事配置については毎年度ヒアリングを行い、各部署からの要望を受けて協議していますが、職員の業務バランスを考慮し分担することができるような仕組みについて、全庁的な検討を進めてまいります。

その他の質問事項

●石岡市ふるさとづくり寄附金の使途 ●若年女性半減推計の対策

本市における少子化・人口減少対策

これまでの成果と今後の対策



むらたのゆき 孝 村 勝

問 急激に進む少子化・人口減少は、全国の自治体で共通の大きな課題となつていますが、人口減少が長く続くと、社会保障はもちろん公共交通、学校等の維持ができなくなり、地域のコミュニティは崩壊、消滅のおそれもあります。ここで本腰を入れて対策を進めなければ、確実に石岡市の人口は減少します。そこで、少子化・人口減少対策としてこれまでの取組による成果と、そこから見えてきた課題について伺います。さらに、当市における今後の対策をどのように進めていくのか伺います。

答 これまでに企業誘致プロジェクト、子育て支援プロジェクトを実施し、企業誘致では25年度末までに9件の新規立地・拡張の協力を得、190名の新規雇用を創出、子育て支援では、医療福祉費単独事業の拡充に努めています。さらに、転入者に対し住宅建築費用を助成し、16件54人の転入が見込まれます。課題は情報発信であり、対策を効果的に実施するためには、市の施策や魅力を知ってもらうための戦略的な情報発信が必要となります。今後は、いかに魅力あるまちになるかが人口減少に歯止めをかけるポイントであることから、石岡ふるさと再生プロジェクトにより効果的な施策展開を図っていききたいと思っております。

その他の質問事項

●学校教育施設

市長の公約である「ふるさと再生」

実現に向け取組む姿勢を問う



ひさのぶ 久 延 部 磯

問 選挙公約でもある「ふるさと再生」の実現に向け、市長としてどのように取組んでいくのか。もとより、市長の願う活力ある石岡をつくることは、多くの市民が熱望することです。石岡は物流、経済の中心として栄えた当時から比較すると、経済情勢の変化や少子高齢化社会が到来しており、財政難、人口減少という課題もあります。時代に即した石岡市を構築していくことが政治課題でありますので、不退転の決意を持って事業に取り組んでいただければ、市長の意思を示していただきたい。

答 ふるさと再生に向けた具体的な取組は、ふるさと再生プロジェクトとして、石岡で人が住まい、活気あるまちづくり、住んでいる方が市に愛着や誇りを感じ、心豊かに暮らせるまちづくり、誰もが生涯現役で健康やかに暮らせるまちづくりを目指して、9本の柱である主要プロジェクトを設定し取組んでまいります。市民が自然や歴史など自らのまちの魅力を再認識し、郷土愛を深めていくことが石岡の輝きを取り戻す原点になると思っております。誰もが胸を張ってふるさと石岡を語ることができるよう、不退転の決意でふるさと再生に取組んでまいります。

その他の質問事項

●行財政改革の取組 ●財源確保と財政管理の取組 ●本市の職員適正人員をどう考えるか

高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業のあり方

全高齢者に助成する手厚い福祉行政を



おお つか かつ 勝 男
おお 大 槻 勝 男

問 当市では、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業として、4月1日より9月30日までの間、65歳以上5歳毎に4000円助成するとしています。県内の多くの市町村が独自の助成事業として65歳以上の全高齢者に実施している中、なぜ当市では65歳以上の全高齢者に対して助成をするような手厚い福祉行政ができないのか。さらに、この助成事業を知っている市民は、私の知る限りほとんどいません。ネットだけでなく、広報紙の折り込みや防災無線などの方法をとることができるはずですので、周知の仕方についても伺います。

答 この助成事業は9月30日までは任意接種ですが、10月からは予防接種法の改正により定期接種になり、本年度から5年間は65歳から100歳までの方を5歳刻みで対象とすると定められています。このため当市では、定期接種になる10月1日から助成対象者が変わることでの混乱を招かないよう、4月から国の制度に準じて実施しています。周知方法は、ホームページへの掲載のほか、対象者全員に対して個別通知をし、さらに5月1日号の広報紙で周知いたしました。個別通知が最も効果的な伝達手段であると考えしていますが、防災無線の活用については、ご指摘の点を検討いたします。

●その他の質問事項
公立保育園ならびに公立幼稚園の公用車配備

●議案第42号 一般会計補正予算（第1号）

大雪被害による農業施設撤去への補助

関口 忠男

問 歳入の農林水産業費県補助金4083万1000円は、2月の大雪による農業施設の被害に対する補助金であると思いますが、国は農業施設の撤去に対する補助額の単価を示したのか説明をお願いいたします。単価が低い場合、例えばブドウのハウスのように構造の異なる大きな園芸ハウス等では、国の示す額より撤去費用がかかります。また、農家にとっては補助金が出るまで借入をするなど大変厳しい面もありますので、最低単価ではなく幅を持たせることや、説明会であった要望などを県に伝えていただきたいと思っています。

答 今回の被災施設の撤去に対する補助は、ガラスのハウス、パイプハウス、畜舎が対象で、当市ではすべてがパイプハウスの補助です。補助額は農林水産省が把握している実績をもとに算出された定額の単価で、業者に作業を発注した場合は1㎡あたり290円、自力撤去した場合は110円となっています。この単価で標準的な撤去費は対応できるとされておりますので、これを超える部分は農家の自己負担となります。しかし、やむを得ない事例として①傾斜地であるため平地での撤去作業に比べ費用が増加する場合②施設の基礎部分の解体が必要なため費用が増加する場合は、県と協議し、特例として認められますので、そのような事例がある場合は根拠となる資料を農家から提出いただき、県と協議してまいります。

●議案第40号 専決処分に対する承認

国民健康保険税条例の一部改正

小松 豊正

問 ①後期高齢者支援金等課税分と介護納付金分の課税限度額が引き上げられることにより、石岡市全体で市民の負担増はどれくらいの額になるか伺います。

②5割軽減世帯、2割軽減世帯の算定方法が変更されることで、軽減の対象となる世帯はどの程度増加し、市全体の軽減額はいくらになるか伺います。また、市民から見れば軽減ではありませんが、国民健康保険特別会計からは減額になりますので、やりくりの方法や国からの援助についても伺います。

答 ①今回の改正は、後期高齢者支援金等課税限度額を16万円に、介護納付金課税限度額を14万円に引き上げ、合計で4万

円の引き上げとなるものです。仮に25年度の本算定時で試算すると、該当世帯数は各々369世帯、104世帯、合計で約809万円の増額となります。

②算定方法の変更により、基礎課税分と後期高齢者支援金等課税分では816世帯増加して3292世帯になり、基礎課税分で約2459万円、後期高齢者支援金等課税分で約587万円軽減となります。また、介護納付金課税分では433世帯増加して1806世帯となり、約389万円減、軽減額は合計で3435万円です。軽減による減額は、国からの交付金等で補てんされることとなります。

●その他の質問事項
平成26年度石岡市一般会計補正予算（第1号）

石岡の地酒で乾杯推進協議会負担金の内容

徳増 千尋

問 石岡の地酒で乾杯推進協議会負担金20万円の内容と目的、また、どれほどの費用対効果を見込んでいるのか、伺います。地酒の普及に目的があるならば、まずは業界ができる限りの努力をして、これ以上できないという部分を市がアドバイスし補てんしていくのが、市の掲げる協働のまちづくりであると思います。また、既に県内で制定した自治体の良い点を見たと対応することも可能であること、行財政改革から他の補助金をカットしている点もふまえ、新たにこのような負担金を設けることはおかしいと思いますが、どのようにお考えか伺います。

答 「石岡の地酒」で乾杯を推進する条例第2条、「地酒の普及を促進するために必要な措置を講ずるよう努める」という市の役割に基づき、石岡の地酒で乾杯推進協議会に対して構成団体の一員として負担をするもので、ポスターやランチョンマットなどの啓発製品の作成とともにイベントでのPR活動を展開していくための経費です。この事業負担は、単に石岡の地酒の消費拡大というだけの目的ではなく、地酒の普及を促進しながら各種関係・関連団体が連携することにより、市内産業の発展、地産地消の促進、郷土を愛する社会的気運の醸成に向けた取組を通じ、石岡の新たな魅力を生み出していく効果を期待するものです。

知りたい！市議会。「一問一答方式の導入」

石岡市議会は、議会に関心を持っていただくだけでなく、皆さんがまちづくりに参加できるような議会を目指した取組「議会改革」を進めています。

平成26年4月1日から施行されている石岡市議会基本条例には、新しい議会改革の取組のひとつとして、「議員の質問を一括方式・一問一答方式の選択制にする」という取組があります。一問一答方式は、議論の論点や争点がより明確になり、傍聴する人にとってもわかりやすい方式です。条例施行後はじめての議会となる第2回定例会の一般質問・議案質疑において、多くの議員が一問一答方式を選択しました。今後も市民の皆さんに分かりやすい議会を目指し、改革を進めてまいりますので、ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

質問方式の比較

	一括方式	一問一答方式
質問時間	60分	60分
質問回数	項目ごとに3回まで	制限なし
質問の流れ	各質問項目を一括して質問し、一括で回答を求める。	質問項目ごとに質問し、回答を求める。
特徴	・市政方針など大局的、体系的な質問に適している。 ・一度に多くのことを発言するため、議論の焦点が定まらない可能性がある。	・質問と答弁のやり取りが短く、現在議論されている内容が傍聴者にわかりやすい。 ・質問が細事に及び、議論が長時間に及ぶ可能性がある。



委員会の活動

●石岡市議会には、4つの常任委員会が置かれています。委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、それぞれが、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容をご報告します。

●総務委員会

市税条例等の一部改正 など6議案を審査

6月16日に開催した当委員会では、議案6件及び陳情2件の審査を行いました。

石岡市税条例等の一部を改正する条例の専決処分は、本年3月31日に公布された地方税法等の一部改正に伴って専決処分をしたものです。改正内容は、①市民税の法人税割の税率を100分の12・1に引き下げたこと、②軽自動車税の標準税率を引き上げたこと、③耐震基準適合家屋に係る固定資産税の減額措置を講じたことです。委員から、法人税割の税率を改正する理由の質

問があり、執行部から

「地域間の税源偏在性を是正し財政力格差の縮小を図るため、当該税率を引下げ、その相当分を地方法人税として国税化し、地方交付税の原資とします」との答弁がありました。また、軽自動車税の標準税率引上げの理由の質問に、「軽自動車と小型自動車を比較すると、性能、価格面で接近し、道路損傷負担金的性格から、環境損傷負担金的性格からも両者間に差は少ないことから、負担水準を考慮して標準税率の水準を引き上げました」との答弁があり、審査の結果、承認すべきものと決しました。

そのほか、5議案はすべて原案可決（承認）す

べきものと決しました。



●教育福祉委員会

議案の審査

6月13日の当委員会では、一般会計補正予算の議案及び備品購入契約を締結する議案の審査を行いました。

一般会計補正予算の議案は、学びの広場サポーター報償として、夏休み中に小学校4、5年生を対象とした四則計算等の

知識や技能の定着を図るため、大学生、非常勤講師や退職教員等が補助を行う講師謝礼79万5000円。スクールライフサポーター報償として、モデル校で、児童生徒が不登校の解消及び未然防止の対応策とする指導員への報酬32万8000円などの予算です。

委員から「スクールライフサポーターは、どのような方をお願いするのか」との質問に対し、執行部から「大学生や大学院生などにもお願いします」との答弁などがありました。また、備品購入契約を締結する議案は、5000万円の寄附を受け、その寄附者の意向を反映し、車いすに乗ったまま乗降可能なバスを2台購入して、福祉バスを更新する契約を締結するものです。委員から「使用しているバスは、どうするか」との質問に対し、執行部から「使用中のバスは、下取りを考えたいです」との答弁などがあり、審査の結果、い

ずれの議案も原案可決すべきものと決しました。

保育所機能の移転及び陣屋門の移設

また、保育所機能の移転及び陣屋門の移設の進捗状況等を調査するため、現地に行き、所管事務の調査を実施しました。

第1、第2保育所では、IS値が低いとの耐震診断結果をふまえ、児童の安全を考えると、その機能を移転します。移転先の石岡小学校内での改修工事が予定どおり進んでいることを確認しました。

陣屋門の移設場所の確認を行った市民会館敷地内では、移設場所にあった既存物を撤去したほか、その場所が常陸国府と府中城の範囲にあるため、試掘調査を実施したとのこと、敷石を移設し門本体の組上げ等を行い、11月に完成させたいとの説明を執行部から受けました。



▲陣屋門移設場所の現地確認の様子

●環境経済委員会

労働者保護ルール改悪反対を求める請願の審査

6月13日の当委員会では、審査付託された議案3件及び「労働者保護ルール改悪反対を求める請願」の審査を行いました。

請願は、政府内で解雇の金銭解決制度の導入や限定正社員の普及、労働者派遣法の見直しなどといった、労働者を保護するルールの後退が懸念される議論が行われており、働く者を犠牲にして成長戦略を描くことは許され

ず、この議論は政府が掲げる経済の好循環とは逆の動きであり、労働者保護ルールの改悪反対を求める意見書を政府に対し提出して欲しいとの内容です。

委員から「雇用の安定を軸に地域社会の発展を目指す」という趣旨もあり、労働環境の整備は重要で、この請願の願意は妥当である」と採択に賛成の意見が出される一方、「今後、団塊の世代等が退職を迎え、労働力不足が予想される中、それぞれのライフスタイルに合わせた様々な働き方があってもよい」と採択に反対する意見も出されました。

質疑の後、「請願事項には、解雇しやすい正社員を増やす懸念のある限定正社員制度の普及とあるが、現在すでに約5割の企業が多様な形態による正社員制度を導入しており、また、これらの制度には多様な働き方を広げる、または女性の働き方に門戸を開くなどのメ

リットがあることから、慎重に議論をしていくべきである」と反対討論がありました。審査の結果、採択とすべきものと決しました。

そのほか、3議案はすべて原案可決（承認）すべきものと決しました。



●都市建設委員会●

北府中二丁目地内の道路拡幅に関する陳情の審査

5月20日の当委員会では「北府中二丁目地内の道路拡幅に関する陳情」の審査を行いました。陳情は、道路幅が狭く、

交通に大変不便をきたし、年に何度も水田に車が落ちる事故が発生しているため、道路改良をしていただきたいという内容で、現況等を把握するため、現地調査を行いました。

委員から「市民の安心安全を守ることが大事であり願意は妥当」との意見があり、審査の結果、本陳情は採択とすべきものと決しました。

また、執行部から新駅舎や自由通路、西口及びBRT専用駅前広場のイメージ映像による説明がありました。

議案の審査

6月16日の当委員会では、付託された専決処分承認を求める議案1件の審査を行いました。

議案の内容は、平成21年8月7日の集中豪雨により発生した、道路冠水による事故に係る損害賠償請求事件に和解し、損害賠償額が25万円に決定したものです。

委員から「側溝の蓋が

なかったり、グレーチング（※6）が外れていた」して事故が起きれば損害賠償の対象となると思うが、大雨が降ったときに走行した車の故障を市が補償していたら大変である。今後どのように考えているのか」との質問に対し、執行部から「市内で冠水した場所が18箇所あり、その内2箇所の整備が完了しています。今後は、まずは側溝等の清掃をするともに、十分なパトロールや注意喚起の看板設置をし、冠水箇所を優先的に整備を進めたいと考えます」との答弁があり、審査の結果、承認すべきものと決しました。



▲陳情箇所の現地確認の様子（北府中二丁目）

石岡市議会では いつでも「請願」「陳情」の受付をしています

提出時期について

請願・陳情は、議会事務局で受付をしています。

ただし、受理後の直近の定例会で審査できるのは、原則として定例会開会日の約2週間前に開かれる議会運営委員会の2日前（土日祝日含まず）午後3時までに提出された分となりますので、議会運営委員会後に提出された分については、結論が出るのは次の定例会以降となります。

書式について

請願・陳情には、特に書式等の決まりはありません。請願・陳情の要旨を簡潔に書いてください。ただし、提出される方が個人の場合は署名（自筆で名前を書くこと）又は記名（印刷機器等を用いて名前を記すこと）・押印、住所の記載が必要となり、法人の場合は、記名・押印及び住所の記載が必要になります。請願の場合はさらに、紹介する石岡市議会議員の署名又は記名・押印が必要になります。

※第3回定例会で「請願」「陳情」の審査をご希望の方は
8月7日(木)午後3時までにご提出ください。

請願&陳情

平成26年 第2回定例会で議題とした請願・陳情

請 願 の 内 容	付託委員会	審議結果
労働者保護ルール改悪反対を求める請願 【請願の要旨】 国で議論されている労働者派遣法の見直しなどといった、労働者保護ルールの改悪反対を求める意見書を関係機関に求める請願です。請願事項は、①解雇の金銭解決制度、限定正社員制度の普及、ホワイトカラー・イグゼンプションの導入などは行うべきではない、②派遣労働者の直接雇用への誘導と処遇改善に向けた法改正を行うべき、③雇用・労働政策に係る議論は労働政策審議会で行われるべき。 【委員長報告の要旨】 「請願を提出した労働者団体としては、雇用の安定を軸に地域社会の発展を目指すという趣旨もある。そういった考え方の中で、労働環境の整備は重要」、「雇用の安定、働く環境の整備、あるいは労働者保護の観点から、願意は妥当」との賛成の意見、「今後、団塊の世代等が退職を迎え、労働力不足が予想される中、それぞれのライフスタイルに合わせた、様々な働き方があった方がよい」などの反対の意見がありました。 【委員会での審査結果】 採 択	環 境 経 済 委 員 会	採 択
陳 情 の 内 容	付託委員会	審議結果
北府中二丁目地内の道路拡幅に関する陳情 【陳情の要旨】 石岡市北府中二丁目地内の道路市道2208号線は道路幅が狭く、年に何度となく水田に車が落ちる事故が発生していることから、道路改良を陳情します。 【委員長報告の要旨】 「本陳情の願意は妥当であり、市民の安心安全を守ることが大事である」という意見などがありました。 【委員会での審査結果】 採 択	都 市 建 設 委 員 会	採 択

※審議結果の欄は、付託委員会での審査結果報告を受けて本会議で表決をし、議会としての意思決定をした結果です。

陳情の付託替え

陳 情 名	付託委員会	付託替えの理由
石岡市役所をイベント広場に建設することを求める陳情	庁舎建設特別委員会	第2回定例会で庁舎建設とこれに関連する事案の審査及び調査を行う「庁舎建設特別委員会」を設置しました。これに伴い、本陳情は総務委員会から付託替えを行いました。
現在地への新庁舎建設の陳情	庁舎建設特別委員会	

第2回定例会で可決し、関係機関へ送付した意見書は次のとおりです。

意見書名	送付先
労働者保護ルール改悪反対を求める意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済再生担当大臣、内閣府特命担当大臣（規制改革）

意見書

》》》》 議会を傍聴してみませんか 《《《《

石岡市議会では、本会議と各常任委員会を一般公開しており、どなたでも議会の傍聴ができます。

傍聴をご希望の方は、石岡市議会ホームページ、又は、議会広報紙等に掲載される会議案内にて日程をご確認のうえ、本会議は八郷総合支所4階議場の「傍聴席入口」まで、各常任委員会は八郷総合支所4階の「議会事務局」までおいでください。なお、傍聴は先着順となります。



写真：傍聴席

ご意見・感想

市議会だよりに関するご意見・ご感想や市議会へのご意見・ご要望をお受けしていますので、石岡市議会事務局までお寄せください。

あて先・お問い合わせ

石岡市議会事務局

〒315-0195 茨城県石岡市柿岡5680-1

Tel.0299-43-1111

E-mail: ishiokashigikai@muse.ocn.ne.jp

インターネットで会議録検索

石岡市議会



<http://www8.ocn.ne.jp/~ishioka/>

石岡市議会のホームページから、本会議や常任委員会等の会議録を読むことができます。

本会議の会議録は、合併した平成17年10月以降、また、平成3年から平成17年までの旧石岡市議会の会議録を掲載しています。石岡市議会ホームページの「会議録検索」から、発言者などの単語検索がご利用いただけます。

